

気象観測統計指針 平成 20 年 10 月 16 日版の変更箇所

ページ	変更箇所	変更内容
P6	2.3.9 (3) 有効桁数が異なる観測値、統計値をまとめて統計する方法	有効桁数が異なる値を統計する方法を追加した。
P11～14	3.1 観測値、統計値の品質	全面的に改定した。アメダスデータ等統合処理システムで得られる品質管理情報、統計情報と利用情報の関係、観測値、統計値の新たな分類方法等について追加した。
P25	3.4.1 地上気象観測統計 3.4.1(5)風	地上気象観測の観測、統計方法の変更について、2007 年 12 月 4 日の瞬間風速のサンプリング間隔変更、2008 年 6 月 25 日の日平均風速の統計方法の変更および日最大風速のサンプリング間隔の変更を追加した。
P29	表 3.4-4	2008 年 4 月 1 日に軽井沢を追加した。
P30	表 3.4-5	2007 年 10 月 1 日に江差、紋別、八戸、宮古、相川、高田、松本、尾鷲、勝浦、豊岡、浜田、種子島、清水を追加した。 2008 年 10 月 1 日に寿都、留萌、小名浜、米子、西郷、室戸岬、屋久島、沖永良部、与那国島を追加した。
P30	3.4.2 地域気象観測統計 3.4.2(1) 気温	2003 年 1 月 1 日と 2008 年 3 月 26 日の日最高気温、日最低気温のサンプリング間隔の変更について追加した。
P30～31	3.4.2 地域気象観測統計 3.4.2(2) 風	2003 年 1 月 1 日と 2008 年 3 月 26 日の日最大風速のサンプリング間隔の変更、10 分間平均風速の観測単位の変更、日平均風速の統計方法の変更について追加した。
P31	3.4.2 地域気象観測統計 3.4.2(3) 降水量	2003 年 1 月 1 日と 2008 年 3 月 26 日の日最大 1 時間降水量のサンプリング間隔の変更、降水量の統計単位の変更について追加した。
P35～37	4.1 地上気象観測統計値	全面的に改定した。地上気象観測の観測値、正時値を修正した際の 10 分値への影響、「修正の取り消し」の取り扱い、計画休止の取り扱いについて記述した。
P39～40	表 4.1-4	日最多風向を追加した。 降水強風時間を削除した。 全天日射量日合計の単位を変更 (0.1MJ/m ² →0.01MJ/m ²) した。

P45～75	4.1.2 気圧の統計 ～ 4.1.13 大気現象の統計	日の極値、日平均風速等の統計方法を変更した。 日統計値の欠測の取り扱いを変更した。 日最多風向、前 1 時間降水量等を追加した。 降水強風時間を削除した。 完全値→正常値等の用語を変更した。
P76	4.1.14(1) 可照時間（日照時間）、観測を行う時間（直達日射量、全天日射量）の算出方法	可照時間だけでなく、可照時間の開始時刻と終了時刻の求め方まで記述した。直達日射量と全天日射量の観測を行う時間についても追加した。
p 78	4.1.14(3) 日の極値の計算方法	日の極値の統計について前 10 分間極値と正 10 分の瞬間値の両方を用いた複雑な統計方法を行うため、補足した。
p 78	4.1.14(4) 半旬以上の統計における扱い	時別値や日別値を用いて半旬以上の統計を行う際、時別値、日別値の分類を一度従来の分類に変換する方法について追加した。
P79	4.1.15 地上月気候値気象報 (2) 対象観測所及び通報官署	宮古、小名浜、相川、松本、尾鷲、浜田、種子島、清水、室戸岬を削除した。 盛岡、水戸、新潟、長野、津、広島、高知、徳島を追加した。
P83～84	4. 2 地域気象観測統計値	全面的に改定した。地域気象観測の基礎資料、正時値を修正した際の 10 分値への影響、「修正の取り消し」の取り扱い、計画休止の取り扱いについて記述した。
P85～87	表 4.2-2 表 4.2-3	最大瞬間風速、最大 10 分間降水量を追加した。 最大風速の単位を変更（1m/s→0.1m/s）した。 降水量の統計単位を変更（1mm→0.5mm）した。 積雪差合計値の欄に「降雪の深さの合計値とも呼ぶ」と追加した。
P88～99	4.2.2 気温の統計 ～4.2.6 日照時間の統計	日の極値、日平均風速等の統計方法を変更した。 日統計値の欠測の取り扱いを変更した。 最大瞬間風速、最大 10 分間降水量、前 1 時間降水量等の統計を追加した。 最大 1 時間降水量は 10 分毎に行う N 時間降水量の統計とは別途定義した。 積雪差 9 時～9 時を削除した。 「完全値」を「正常値」とする等、いくつかの用語を変更した。

p 100	4.2.7(1) 日の極値の計算方法	日の極値の統計について前 10 分間極値と正 10 分の瞬間値の両方を用いた統計方法について地上気象と同様に行うことを記述した
p 100	4.2.7(2) 半旬以上の統計における扱い	時別値や日別値を用いて半旬以上の統計を行う際、時別値、日別値の分類を一度従来の分類に変換する方法について追加した。
P100～ 102	4.2.8 アメダスデータ等統合処理システムに移行しない観測点における統計方法	アメダスデータ等統合処理システムに移行しない地点の統計方法について追加した。
P106～ 107	4.3.2 ジオポテンシャル高度の統計 ～ 4.3.5 風の統計	「完全値」を「正常値」とする等、いくつかの用語を変更した。
P110	4.4.1 特定の期間の合計、平均、極値、度数の算出方法	「完全値」を「正常値」とする等、いくつかの用語を変更した。 「(1) 時別値から求める場合」と「(2) 日別値等から求める場合」の記述を統合した。
P127	図 6.1-1 観測資料及び統計資料の流れ	図を変更した。
P129	6.4.2 ホームページへの掲載	高層気象観測資料の公開を追加した。